

東京外国語大学国際日本研究センター  
比較日本文化部門・国際連携推進部門共催国際シンポジウム

# e-Japanology の構築に向けて

一般公開  
参加費無料

2010 12.11 土 14:00-18:00

東京外国語大学府中キャンパス  
留学生日本語教育センター さくらホール

- JR中央線「武蔵境」駅のりかえ 西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分(JR新宿駅から約40分)
- 京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分、「東京外国語大学前」下車

## 講演者

多摩地区大学連携における「e-Japanology」構想

佐野洋 (東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授)

辻澤隆彦 (東京農工大学総合情報メディアセンター教授)

友常勉 (東京外国語大学国際日本研究センター)

電子図書館構想と日本の学術デジタルコミュニケーションの現状

中山正樹 (国立国会図書館総務部情報システム課長)

海外の大学図書館からみた日本研究と学術デジタルコミュニケーションの課題

マルラ俊江 (UCLA 東アジア図書館日本研究司書)

自然科学領域における電子ジャーナル・オープンアクセスの現状と課題

林和弘 (日本化学会学術情報部課長)

文化史のなかの〈知の電子化・電子書籍化〉

桂川潤 (ブックデザイナー)

東京外国語大学国際日本研究センターでは、国際日本研究の飛躍に向けて、国内外の研究提携大学とともに討論と情報交換を続けてまいりました。現在、本学では、多摩地区大学連携の中で e-Japanology の構築に向けて討論を開始しています。この取り組みに連動して本研究センターでも、学術デジタルコミュニケーションの領域での創造的な国際日本研究の可能性について提案したいと考えます。ポータルサイトの構築、学術コミュニケーションのデジタル化・学術論文のオープンアクセス化への基盤整備、研究者の交流も含めた国際的な共同研究のための協力体制の構築。このような構想の実現のために当シンポジウムでは、まずは現状を認識し、その共有化を目指します。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

## お問い合わせ

東京外国語大学 国際日本研究センター  
TEL : 042-330-5794 メール: info-icjs@tufs.ac.jp